

4月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年4月18日(火) 15時00分～16時00分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育長：松尾教育長
教育委員：大庭教育長職務代理者、馬場委員、牟田委員、田中委員、大渡委員、山口委員、井手委員、野田委員、松尾委員
事務局：古賀こども教育部長、諸岡こども教育部理事、木村教育総務課長、古田こども未来課長、徳永こども未来課参事、小川学校教育課長、真崎学校教育課参事、石橋新しい学校づくり課長、林新しい学校づくり教育監、朝長生涯学習課長、宮原文化課長、井手新文化交流拠点整備室長、溝上図書館・歴史資料館長、草津教育総務課長代理
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【大渡委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和5年3月定例教育委員会会議録
- 8 (1)教育長の報告
 - 1 はじめに
 - ・入学式後に令和5年度が全学年でスタート
 - ・わんぱくスクール開校式：4月23日(日) 【わんぱくスクール生24名】
 - 2 今年度のこども教育部の取組(主な事業)
 - ・新文化拠点エリアの基本設計等、武雄市史編さんの着手
 - ・若木、武雄公民館の設計
 - ・英語教育の充実、ファシリテーター研修、一步先のデジタル教育
 - ・部活動の地域移行の推進
 - 3 佐賀県教育委員会・市町教育委員会協働会議(2種類の別紙資料)
 - (1)2024 北部九州高校総体(バドミ、競泳、少林寺、フェンシ、ボクシング、レスリング)
 - (2)教育DXの推進(教育DX推進グループの設置)
 - (3)佐賀県立彩志学舎中学校(夜間中学)開校準備を進める(2024の4月開校)
 - (4)「教育庁」から「教育委員会事務局」へ
 - (5)特別支援教育エリアリーダーの配置(県内3名)担任制の推進
 - (6)不登校への対応
 - (7)佐賀県人権・同和教育の推進

全ての佐賀県民が一人一人の人権を共に認め合い、支えあう社会づくりを進める条例

4 その他

(1) 武雄市民体育館オープン 5月27日(土)

(2) 新規交流事業：秋田市への児童交流

(3) 北方小統合50周年 武雄市図書館・歴史資料館リニューアルオープン10周年

(4) 入学式現在の実学級数及び児童生徒数(カッコ内数字はR4.5.1現在との比較)

小学校：通常実学級104(±0)・特支学級43(+1) 計147(+1) 児童数2603人(-46)

中学校：通常実学級36(-1)・特支学級16(+1) 計52(±0) 生徒数1222人(-38)

(5) 令和5年度の研究推進校等

・東川登小・・・文科省：人権教育研究推進事業(2年目)

・武雄小、武雄中

文科省：GIGAスクールにおける学びの充実事業、リーディングDXスクール事業

・武内小、若木小、武雄北中・・・市教委：「個別最適な学び」教育実践研究事業(新規)

(6) 4～5月の修学旅行(中学校2校) 5月の運動会・体育大会(小学校4校、中学校4校)

(7) 今年度の学校訪問のスタート 5月26日(金)川登中(西部教育・市教委同時訪問)

9 議事【公開】

(1) 報告事項

①自治公民館長の委嘱について

②職員配置について

③図書館の選書について

④各課等からの行事報告

10 議事【非公開】

(1) 提出議案

第1号議案 武雄市奨学資金貸与に係る奨学生の決定について

(2) 報告事項

①寄附採納について

11 次回開催日程について

【令和5年5月16日(火)15時～武雄市役所4階会議室】

12 その他

13 閉会

午後3時 開会

○教育長職務代理者

それでは、ただいまより4月の定例教育委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事録署名人については、4月は大渡委員さんになっています。よろしくお願いいたします。
教育長さんより非公開の件をお願いします。

○教育長

では、いつものとおり、私のほうから非公開の議決について了解を得たいと思います。

レジュメの本体資料の表紙の式次第を御覧ください。ちょうど真ん中ほど、6番に議事【非公開】とございまして、今日は提出議案1件、報告事項1件ということで、この2つの議案について、公にできないものということで非公開にさせていただきたいと思っています。非公開ですることには賛成の委員さんは挙手をお願いします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございました。では、提出議案1件、報告事項1つについては非公開で進めていきたいと思っています。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

進行上ですが、今までとちょっと違うのは、7番目に開催日程をお伝えした後、8番にその他ということで閉会にしたいと思います。閉会後に事務連絡がございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、3番、前回議事録の承認ということで、前もって自宅にお配りいただいていました3月の会議録、御覧いただきまして、教育委員さんや執行部のほうからでも補足や質問、訂正等ありましたら、挙手の上お願いいたします。よろしかったでしょうか。どうぞ、A委員さん。

○A委員

21 ページ、職務代理のところの4行目で、「3月10日の勉強会も十分生かされているところは生かされてい」で終わっているの、「いる」が入るのかなと。どんなでしょうか〔「いるですね」と声あり〕。

○教育長職務代理

いと結んでおきますね。ありがとうございます。

ほかになれば、承認ということでよろしかったでしょうか〔「はい」と声あり〕。

ありがとうございます。

それでは、4番、教育長の報告に入りたいと思います。教育長さんお願いします。

○教育長

では、今年度の第1回目の教育委員会ということで、新しい顔ぶれの教育委員さんと、執行部のほうも新しい顔ぶれになりました。この1年間どうぞよろしくお願いいたします。

いつものとおり資料を作っておりますが、この資料から、ここ3年間コロナがなくなったのは今回が初めてかなと思いつながら資料を作ったところです。

先週、県の教育委員会と市町の教育委員会の協働会議という合同の会議がありました。大庭職務代理と一緒に出てきまして、会場は広がったのですが、県の執行部はほとんどマスクはつけていらっしゃいませんでした。

県は、やっぱり大人が外さない、あるいは執行部が外さない、外せる雰囲気ができない。ただ、私たちも学校に出向いていくときは、子どもたちがいますので、まだちょっとどうかと思っているところもあります。しかし、いよいよあと3週間で5月8日、5類相当になってきます。5類相当になったらどんな基本的な対応をしなければいけないかということで、例えば、7日間休みなさいといったのを5日間に短縮されたりと、今後厚労省と文科省からいろんな対処方針が出てきます。

記事によりますと、今月下旬、連休前にはある程度の方向性ができてくるということを知っていますので、連休明けから新しい動きが出てくるかと思っています。

そういう中で、入学式へ参加をしていただきましてありがとうございました。まだ完璧に来賓の数をそろえなくて、ちょっと絞ってという学校もあったかと思えますけれども、幾らか入学式の雰囲気になってきたのかなと思っています。子どもたちはまだマスクをしていたのかなと思っていますけれども、全学年そろってのスタートがやっと切れたところです。

いろんなものが平常にスタートしまして、今度の日曜日、わんぱくスクールの開校式をいたします。空欄になっておりますが、24名でスタートをするということで、定員を24にしておりますので、ほぼ定員の分は埋まったということになります。

私、教育長として4年目がスタートしましたが、本当に4年目になって初めて参加するような大会とかイベントがありまして、例えば、4月1日、2日の武雄温泉の春まつりも初めてだったし、先週の剣道大会も初めてだったし、そして、今度の日曜日は武雄町の子ども相撲大会が予定されているということで、4年目にして初めて行くというのが、それだけコロナが落ち着いてきて日常を取り戻しているという状況になってきました。

そういう中で、今年度がスタートをするわけですが、こども教育部としての大きな柱を4本書いております。これ以外にもたくさんあります。ただ、これまでずっとしていたことではなくて、今年度新規に取り組むということ、新文化拠点エリアの基本設計、あるいは文化課では、武雄市の市史編さんという作業に着手していきます。あるいは若木、武雄公民館の設計ということで、大きな事業が今年からスタートします。

市長さんが、今年度は武雄市にとって正念場の年であると言われてきましたが、二、三年後に成果が見えるんじゃないかと、こういった大きな建物は、10年後、20年後、50年後を見据えて設計していくという大きな行事でございます。あるいは英語教育の充実、ファシリテーター、そういった新規の研修、そして、一歩先を行くデジタル教育、そして、昨年から取り組んでいます部活動の地域移行ですね、こういった大きなものがあります。これ以外にも不登校の対策とか防災教育とか、

取り組むべき課題はたくさんあるわけですが、主な新規の今年度の行事ということでございます。

先ほど紹介しました、先週の金曜日に佐賀県教育委員会と市町教育委員会の協働会議ということで、別冊の2種類の資料を用意しておりますが、落合教育長さんの資料が分かりやすいので、1ページを1枚開いていただいて、佐賀県教育委員会の令和5年度の重点的な取組というところで、「ほめるから、はじめる。はじまる」ということで、そういう目標で進めていただいております。

そして、教育DXですね、そういった取組もされるということです。教育DXは、ずっと段階を追って、子どもたちに向けての「誰もがいつでもどこでも誰とでも自分らしく学ぶことができる」という、学びを目指すためにDXをすることと、もう一つは、働き方改革ですね、これに生かしていくということで、これは武雄市もDXを取り組んでいきますけれども、県でも教育DXということで取り組まれています。

次のページは、「唯一無二の誇り高き学校づくり」ということで、これは主に県立高校あたりでございますけれども、普通科高校の改革ということで、この西部地区の普通科というところ鹿島高校、白石高校、武雄高校、そして伊万里高校という普通科の高校がありますけれども、普通科の改革ということで県立学校が取り組んでいかれるということでございます。

それと、1枚飛ばしてもらって、「SAGA部活プロジェクト」というのが4番のところにあります。私もあらっと言われて気づいたんですが、私たちは中学校部活動の地域移行ということで地域移行の検討委員会というのを立ち上げています。国も土日を地域移行にしていくということで言われています。ところが、県は意外と地域移行という言葉を使っていません。県は部活動を学校が地域に追いやってしまうということではなくて、地域と共に子どもたちを育てていくと、部活動をしていくということを主眼に置いているということで、地域と連携しながらというのを特に言われました。そういったことで、私たちは国が言っている地域移行で作っているんですけども、そういった地域と連携、地域と一体になってということで考えているということで言われたところです。

小さい字で14ページがありますが、これは前回も言いました。夜間中学が来年開校になるということで動いてきます。佐賀北高校の通信制のところ彩志学舎中学校というのできるということで、1年後に開校するというので動いてきます。

実は一つ今後の課題ですが、学校は県立学校なんですね。県立でつくっていただく。ところが、行くのは中学校のものですから、義務教育の生徒が行くと。大人ですけど、そういうことで、設置は県立ですけども、学ぶ主体は市町教育委員会が担当する中学校、だから、県と市町が協力しないといけないわけです。

4番目、その他ということで、5月27日に武雄市民体育館がオープンをいたします。昨年度は野球場がオープンして、今年度は体育館ということで大きな建物ができていきます。

ちょっと外構工事中で見学させてもらいましたけれども、すばらしい体育館で、外構工事も、周りも広い敷地をとってもらいまして、これは近くの小学校は遠足にいいなと。そして、武雄の駅の前に来てとか、ぶらっと低学年のそういうものにも使えるなど。なかなか東川登の野球場まではちょっと遠いんですけど、まちの中の体育館は非常にいいなということで、ぜひ委員さんあたりに向

けての内覧会の御案内があったりするかもしれませんが、そのときはどうぞよろしくお願ひしたい
と思います。

新規の子どもたちの交流事業ということで、秋田の交流はずっと続いていますけれども、昨年、
竿燈まつりで来ていただきましたので、そのお礼を兼ねて、秋田に今度8月の上旬、竿燈まつりが
あっているときに交流をしたいと考えています。

今年度の周年は北方小学校の50周年、あるいは武雄市図書館・歴史資料館のリニューアルから
10周年ということで、節目の年がやってきます。

今年度の入学式現在、ずっと始業式現在、入学式現在、5月1日現在という区切りで子どもの数
の統計を取っているわけですが、最終的には5.1統計といって、5月1日現在の1年間
有効ですが、こういうふうに学級数はほぼ小学校147学級、特別支援学級は増えて1学級していま
すが、生徒数は46人減、中学校は学級増減はプラス・マイナス・ゼロですけれども、36人減とい
うことで、それぞれ1クラスぐらいずつ減ってきていると。今の現状は、子どもは減ってきている
けれども、学級数は減らないという傾向があります。

今年度の学校の研究指定関係ですけれども、人権教育の推進で東川登小学校、昨年から今年が2
年目の最終年度になります。武雄小学校、武雄中学校が文科省のGIGAスクールにおける学びの
充実事業、リーディングDXスクール事業、リーディングDXスクール事業というのは、今年いろ
いろ新聞なんかで目にするかと思いますが、今年新規の研究内容です。

それと、昨年度は北方小・中学校で受けていただいた市単独の研究実践事業を、今度は武雄北中
校区でお願いするというように進んでいます。

修学旅行、体育大会ですが、去年までは本当に修学旅行はできるか、体育大会ができるかという
ことで心配していましたが、今年は心配ないだろうと思いますが、4月に1校、そして5月
に中学校1校と、2校が4月、5月に修学旅行に向かいます。

そして、運動会、体育大会が5月下旬に小学校4校、中学校4校、8校中、ちょうど半分の学校
が5月に運動会をするということで進んでいます。

学校訪問もある程度コロナの前の教育委員さんの人数でお願いしようということで、今まで人数
を絞っていきましたけれども、コロナ前の人数ぐらいで学校訪問、5月26日の川登中学校からス
タートします。これは西部教育事務所との同時訪問ですので、幾らか制限がかかるかもしれませ
んが、今年度のスタートは5月26日ということでございます。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。年度当初でもございましたので、教育長さんのほうからは、取組の主な
内容等も話していただきました。

教育長さんの報告に対して御質問等ございましたら、どうぞ遠慮なくお手挙げていただいて発言を
お願いします。B委員さん。

○B委員

2点あります。

1点目が、今年のご家庭訪問の実施状況を教えてください。

あと2点目が、今回、初めて中学校が入学式を午後という新しい取組だったと思うんですけど、いろんな市町も結構されているということで、私もメリットはいっぱいあると思っています。

ただ、今後卒業式と入学式を武雄市は午前と午後とするかもしれないということをおっしゃられたような気がするんですけども、もし今後していくのであれば、まず、保護者さんたちが何で入学式が午後にあるのかというのを理解していらっしゃるなくて、結構いろんな方から質問が来たりとか、憶測だったりとか、いろいろあったので、そこを一旦どうして午後に中学校の入学式をするのかとかいう説明がもうちょっとあったらいいなと思いました。

あと、もしそういう小学校、中学校というのを1日でという計画が今後あるのであれば、時間配分を、もしよかったら、中学校の入学式をもうちょっと早めからスタートしていただくと、今回、終わりがいろんなホームルームとかをしていたら4時半ぐらいになったりして、そこから写真を撮ったりした後に、小学校の担任の先生に制服姿を見せに行こうかなとしたときに、もう5時過ぎていたりしていらっしゃるなかったりとか、何となく見せたかったなということもあったので、細かいことではあると思うんですけど、多分同じ市でしたら連携はうまく、今回が高校との絡みだったので、時間も余裕を持ってあったと思うんですけど、今後もしこういう計画があれば、そういう声も聞かれましたということをお報告しておきます。

以上です。

○教育長職務代理者

1つ目はご家庭訪問、教育長さんの発言を……

○OB委員

ではなかったんですけど、一応こういう修学旅行とか体育祭とかが戻りましたみたいな感じでおっしゃられたので、学校行事はどうなのかなと思ひまして。

○教育長職務代理者

学校教育課長さん。

○学校教育課長

各学校からいろいろな行事等の計画が出てきております。その中で、ご家庭訪問もかなりの学校で入っております。

また、ご家庭訪問の内容についてどうされるかは、学校の判断ですので分かりませんが、計画は出ておりますし、ご家庭訪問をしないところは、学校に来ていただいて面談をする、そういう学校もありました。また、夏休み前に保護者との面談をする計画が提出されている状況です。

そのくらいでよろしいでしょうか。

○OB委員

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

入学式の件で教育長さんお願いします。

○教育長

初めて中学校を午後からしたということでいろいろあったと思いますが、中学校の校長を集めて、こういう理由で午後からすると言ったことが伝わっていないんですよね。残念でならないですね。

ただ、御指摘のように、4時ぐらいになったり、特に制服が今年から替わった学校は小学校の先生にこう替わったよと言って見せに行きたいわけですね。子どもたちの気持ちも分かります。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。今のようなことで、今年度はちょっと事情がいろいろあってということで、今後検討をさらにしていただいて、教育委員会と学校での周知もさらに進めていただくということで確認をしたいと思います。

ほかにございませんか。C委員さんから先に。

○C委員

時間がありますけれども、教育長さんに答えてもらってもあれですが、武雄市史編さんがあるようですけれども、当然新武雄市になってからの新しい市史編さんになるかと思えますけれども、それぞれ旧北方町、旧山内町、町史がありますが、こういうところの取扱いとか、構成メンバーなんかもし分かれば。

○教育長職務代理者

お願いします。

○文化課長

現在、市史編さんについては、今御指摘いただいたところも踏まえて、どういったやり方をするのかということで今検討している状況でございますので、まだそういったところまで正確に決まっておきませんので、また決まり次第、教育委員会のほうには御報告させていただきながら進めていければと思っております。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

では、D委員さん。

○D委員

部活動の地域移行の推進に関してですが、昨年度までの経緯を私存じ上げないですけれども、ほかの市町村とか、いわゆる地元のクラブだったり、もしくは地元のスポーツクラブに委託してスタートしているところを結構お聞きするんですが、武雄市さんとしてはどういった方針でそこら辺は考えていらっしゃるのかなど。

また、部活動の競技に関してもどういったものを残すのかとか、そこら辺もなかなか選択が難しい部分があるのなどは思うんですが、そこら辺もちょっとお聞きしたいと思います。

○教育長職務代理者

教育長さんから。

○教育長

まだどんな形というのは見えていないところがあるんですが、今、県内で進んでいるのが多久市、白石町、そして基山町、この辺が研究指定を受けながら進んでいます。近隣では、この教育委員のメンバーで行きましたけれども、長崎県の長与町がかなり進んでいます。5年度からは文化部も地域に移行してスタートするという、かなり先を行っています。

一応武雄市としては、まずはその学校でできないというか、メンバーが足りなくてチームが組めないような野球部とか、いろいろあるんですけれども、そういったものの合同練習あたりに外部の人に指導に来ていただいと。武雄中学校は意外と学校が大きいですので、自分の学校で十分できるんですけれども、その辺の武雄中学校の中に行って一緒にするのか、チームが組めないもの同士、川登と北方とか、山内とか、そういう形で、合同練習の形で進めていくのか。

問題は、今年は目標としては人材バンクをつくっていきたいと。どんな指導者がいらっしゃるのか。これが全く今のところ分からないわけです。

課題は、謝金をどうしていくか。今までは必要なかったのですが、謝金が発生する。あるいは隣同士の学校が一緒になると移動をどうするのかとか、そういったもの、あるいはけがをしたときとか、トラブルがあったときにどうしていくのかとか、いろいろ課題がありますが、まずできる部から、全部できるようになってスタートしていたら間に合わないと思いますので、条件がそろって指導者がいてとかいう部からしていこうかなということで考えています。

先ほど言いましたように、地域に追いやるんじゃなくて、地域と連携しながらやっていく方向に持っていかなければいけないなということです。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。検討委員会もできています。今年2年目に入りまして、私も教育委員会の代表として入っていますので、ぜひ我々教育委員の勉強会も今年もしたいなと思いますので、詳しいことはまたそこでお知らせします。

ちょっとここで質問はとどめます。すみません。

それでは、公開議事に入っていきたいと思います。

報告事項④まであります。

まず、自治公民館長の委嘱についてということで、これは御覧いただければと思います。今日のレジュメの中に上がっているかと思います。2ページからになります。よろしかったでしょうか。補足等ございますか。よろしいですね〔「なし」と声あり〕。

それでは続きまして、②職員配置についてということで、3ページから6ページまで、これも事前にお配りされていきましたので、目は通されたと思いますが、何か訂正とか補足とかございましたら、執行部のほうお願いいたします。報告ございますか〔「なし」と声あり〕。

職員配置については、これだけの教育委員会部局において、こども教育部のほうにおいでですので、なかなか名前と顔は一致しないと思いますが、それぞれ学校訪問、放課後児童クラブ、給食含めて、学校に行かれたときにぜひ顔を覚えてください。

③図書館の選書、これも事前にお配りされて、年度当初ではありますので、非常に多くの図書を準備されております。7ページから25ページまでございますが、この件について何かお尋ねしたいことはありますか。補足等もよろしいですか。館長さん。

○図書館・歴史資料館長

ちょうど区切りのときですので、これは3月に購入した図書でございます。その翌月に報告させてもらっていきまして、ちょうど1年間トータルで、3月は750冊購入していますけれども、1年間で6,896冊購入いたしまして、費用として1,500万円図書購入費等を使用しておりますということで補足いたします。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。図書館に足を運んで有効に本を読みましようということで補足しておきます。

それでは、④各課等からの行事報告ということで、教育総務課から、26ページからございますが、挙手の上、補足等、または補足説明等をお願いします。ございませんか。館長さんお願いします。

○図書館・歴史資料館長

ないようでしたら、まず、32ページを御覧いただきたいと思います。

図書館・歴史資料館からの報告ですけれども、まず、皆様の御支援、御協力によりまして、おかげさまで4月1日で図書館リニューアル10周年を迎えました。これまで10年間で来館者数は、リニューアル後830万人を超えております。最近もやっとコロナが落ち着きまして、昨年度も82万人程度来られましたので、また以前、コロナ前の年間100万人の来館者が見込めるんじゃないかなと期待しております。今後もよりサービス向上、利便性向上に努めて、皆さんに満足していただける図書館にしていきたいと思っています。

それともう一つ、4月22日から企画展を開催いたします。皆さんのお手元のほうに「武雄植物図鑑」ということで配付してもらっていますけれども、今回、国の重要文化財の「植物図絵」を使って展示会を行います。ちょうどこれも今、NHKの朝ドラで牧野富太郎さんをモデルとしたものがありまして、皆さんが植物に関心を持っていただけるんじゃないかなという、そういうタイムリーな時期に4月22日から5月21日まで開催いたしますので、ぜひ皆様方も御観覧いただければと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ギャラリートークも計画されています。どうぞということです。

ほかに課長さん方、担当の方から補足ございませんか。よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

後でまたその他もありますので、質問があったときに出してもらいます。

7番に、次回の開催日程については5月16日火曜日15時から、こちらの4階会議室となっています。御確認をお願いします。

8番、その他、一応これまで1か月まではないですけど、4月から入りまして、新しい教育委員さんもおいで、執行部の皆さんも新しくなられまして、確認をしておきたいとか、いろんな声を聞きましたとか、そういうのがありましたら、1人、2人御質問いただいたり、挙手いただければありがたいです。E委員さん。

OE委員

4月になって、4月1日の保育所の入園式から小学校、中学校、高校と一通り入学式が終わったわけですけども、毎年この時期になりますと保育所等の入園状況について気がかりになります。つまり、待機児童がいたのかどうか、もし分かれば、人数とかあれば、こども未来課のほうにお願いします。

○教育長職務代理者

子ども未来課長さん。

○こども未来課長

4月1日現在の待機児童はいらっしゃいませんが、希望する園に入れないということで育休を延長されたり、次の入所するときという方はいらっしゃいました。ただ、市内全域が保育の提供区域になっていますので、枠としてはあったので、待機児童という形にはなっておりません。

以上です。

○教育長職務代理者

お願いします。

OE委員

今後武雄市が移住・定住を含めて、現在住んでいらっしゃる方の少子化対策も含めて、やはり保育環境の充実というのは非常に喫緊の課題であると考えております。先ほど、こども未来課長さんから言われたように、保育提供範囲は武雄市内全域でありますので、武雄町に住んでいても、山内、あるいは北方といった遠方の園に指定されるということはやむを得ないと考えておりますし、一定の御理解を得ないと調整は難しいだろうと思っております。

そうした中で、まだまだやはり市内に住んでいても、自営業をされていて、なかなか時間が合わずに通園バスに乗れないので、山内まで片道20分、30分かけて毎日送っていますという声も聞きますし、その辺りの職場の近く、例えば、佐賀に行かれている方であれば北方にお願いするとか、御配慮できたらなというのが声としてまだまだありますので、調整が大変でしょうけれども、丁寧な対応をお願いしたいと思っております。

それから、2点目ですけども、途中入所を希望される方から入りにくいんじゃないかという御意見を伺うこともあります。佐賀市とか毎月、あるいは年に数回受け付けをしているところもありますけれども、武雄市の場合は11月に1回だけで、恐らく随時受付用の相談をされていると理解はしておりますけれども、やはり申し込む側からすると入所しにくいのではないかとか、あるいは

4月入所に比べたら不利になるんじゃないかということで不安を抱えられている方もいらっしゃるんじゃないかと。この4月入所の方との関係で、やはり途中入所の方にも一定の枠を設けたり、入りやすい環境をつくっていますよというPRも必要じゃないかと思っております。やはり4月に入所するためには、前年11月ということで、育休期間が短い御家庭については、おなかの中にいるときから、まだまだ分からないときから申込みをしないといけないとか、あるいは申込み忘れたという方も伺っておりますので、申込み忘れた方は仕方なく近くの祖父母に頼んだとか、一時預かりで頑張ってもらっているとか聞きますので、そういった途中入所の方への枠が各園若干名ですけれども、設けてあればいいなど。ただ、今ぎりぎりの状態で入所調整がされておりますので、特に人気というか、交通の便のいいような保育所、あるいは認定こども園では4月も入れなかったと。目の前に住んでいるけれども、入れなかったとかいう方も当然出てくる中で、途中から人がぼっと入るといっても逆に不公平感もあるかもしれませんけれども、やはりこれから移住・定住を促進するためには、武雄市としても途中入所の方にもきちんと配慮していますよとか、入りやすい環境づくりが必要ではないかと考えております。そうした入所しやすい環境づくりというのをぜひお願いしたいなと思っております。

保育所、あるいは認定こども園の場合、定員の120%までは受入れ可能と伺っております。ただ、園の方針として、どうしても保育環境を悪くしたくないと、できるだけ少人数で保育したいという保育士さんたちの気持ちも分かりますし、親としてはできるだけ1人でも多く入れてほしいという、その辺ジレンマがあるかもしれませんけれども、やはり今後武雄市が子どもの人口増を目指すのであれば、少子化対策を考えて移住・定住を促進するのであれば、やはり市と保育園、あるいは認定こども園が連携して定員増を図るとか、そういう中・長期的な対策も必要ではないかと考えております。

もちろん定員を増やすとなると保育士の確保も必要ですし、非常に中・長期的には少子化の流れがありますので、一度雇った保育士さんを首切るわけにはいかないとか、あるいは経営の問題とか、様々な課題もあると伺っておりますけれども、できるだけ武雄市に転入・定住していただくような方にPRできるよう、武雄市は子育てしやすいまちですよというのをアピールできるような定員の設定であるとか、保育所との連携をお願いしたいと思っております。

以上、意見です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

こども未来課長さん、何かありますか。

○こども未来課長

貴重な御意見ありがとうございます。今言っていたいたいろんな課題がありながら、途中入所が難しいということも確かにあるのも事実かなとは思っております。

今最大限園のほうにも御協力いただきながら、特に教育委員のD委員さんの認定こども園でも定員超えて預かっていただいているような状況でもありますので、御意見あったように、園とも協力

をしながらやっていきたいと思ひますし、今言われた子育てしやすい環境ということで市のほうも努力をしていきたいと思ひておりますので、今後とも御協力をよろしくお願ひいたします。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。

ひとまずその他の項でもうお一人様ぐらいありましたら、A委員さん。

○A委員

年度初めですので、いろいろな職員一覧等を頂ひていますので、この時期しか気づかない点とかありますので、よろしくお願ひします。

それと関連して、27 ページのこども未来課の行事報告とか予定のところ、4月18日には放課後児童クラブ支援員リーダー連絡会、今日ですか、あっているかと思ひますが、それから、5月19日にはサブリーダー研修会となっているんですね。それで、当然内容も少しは違うところがあるかなと思ひますけれども、6 ページを見ますと、リーダーはもちろんありますけれども、サブリーダーというのがいらっしやらないところもあるんですね。山内西小とか、橘小とか、西川登小とか、御船が丘小とか、ちょっとサブリーダーという名称としては上がっていませんけれども、それから、東川登の専門の「専」ということが書いてあったりとか、ちょっとその辺りとかが分からないところもありました。サブリーダーと2人以上だったら、これでは4人ぐらいのところからサブリーダーがついているようなことかなと思ひて見たんですけれども、サブリーダー等、人数が少なくても、2人、3人でも常勤の方がいらっしやるところにはサブリーダーもあってもいいんじゃないかなとちょっと思ひまして、サブリーダーの研修会のほうにもどの学校からでも出ていただいたほうがいいんじゃないかと思ひましたので、その辺りについて補足をしていただければありがたいです。

○教育長職務代理者

このリーダー、サブリーダーのことを少し補足いただけますか。

○こども未来課長

児童クラブのほうでは支援単位ごとにリーダーという形で中心になる方を配置してやっております。先ほどおっしゃったように、人数の関係でリーダーのみのクラブもございます。

表の中の「専」と書いてあるところは、今年度から委託事業で専門員さんという方を5名配置するようにしておりますので、こちらは委託事業者から派遣される方ということで、ちょっと名前が入っていないような状況になっております。

支援が必要な子どもたちの対応をしていただいたり、ほかの支援員さんたちにそういった対応の指導をしていただいたりという形での専門員さんの配置という形になっておりますので、リーダーを中心に、常勤だけでなく、常勤の中に非常勤の先生も入りながらということで、一定の人数を毎日確保しながらやっておりますので、児童クラブの先生方にも研修の機会等も設定しながら資質向上を図っていきたいと思ひております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。その他の項もこの辺で終わりにしたいと思います。

教育委員さんも放課後児童クラブに足を運ばれることもあるでしょうから、その辺のお話もしながら応援をいただければ助かりますので、よろしくお願いします。

4月、皆さん新しい職場で気持ちが落ち着かない状況もそれぞれ委員さんもあるかと思いますが、連休を通してインフルエンザとコロナだけはならないようにしながら、また5月の定例教育委員会に臨んでいただいて、執行部の皆さん、よろしく御協力をお願いします。

○学校教育課長

お知らせということで、今週から市役所の1階ホールで若木小学校の令和4年度の6年生が総合的な学習の時間で作った「キッズゲルニカ」といってピカソが描いた名画「ゲルニカ」に倣って、縦3.5メートル、横7.8メートルの大きな平和をテーマにした、平和で幸せな社会にしたいという願いを込めて作成しております。それが飾ってあります。また、2024国スポ応援ということで作成したのぼり旗、若木小学校が作った分も一緒に展示されておりますので、よかったですら御覧いただければと思います。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。

では、以上をもちまして4月の定例教育委員会は終わります。長時間ありがとうございました。

午後4時 閉会